

# えっ！ 年の初めは3月だったて。

2003-01-01

Richmond E.S.

I. Nishida

皆さん、あけましておめでとうございます。  
今年もどうぞよろしく申し上げます。

さて、正月早々に突拍子もない話題をだして申し訳ありません。  
今では、だれも疑うことなく年の初めは1月で、おしまいは12月ということになっています。そして、この「月」の名前を英語では、**January, February, . . . , December** といっています。

しかし、英語（もしくは西欧語）の語感をお持ちの方は、ちょっと引かかるものを感じられるのではないのでしょうか。というのは、10月、英語で **October** ですが、この綴りの頭の **Oct** は、数字の8を意味しているのではなかったのでしょうか。その昔、コンピュータをやられて方は、数字の8進数表示のことを「オクタ」表示と言っていました。（今では、8進表示はほとんど使うこととはなく、16進数表示、「ヘキサ(**Hex**)」表示ですね。）音楽に詳しい方はご存知のとおり、8重奏のことを、「オクテット(**Octet**)」といい、また、全音8音階を「オクターブ(**Octave**)」といっています。それよりも、8本足のサカナの「タコ」を、英語では「オクトパス(**Octopus**)」といっています。

ということで、**October** を我々は、「10月」、10番目の月として何の疑いもなく思い込んでいますが、ヨーロッパの **Native** の人たちは、ひょっとして、「8番目の月」と心の中では思っているのではないのでしょうか。そこで、**October** が年の8番目の月ならば、年の1番目の月は、3月すなわち「**March**」ということになります。事実これは、後に述べるように、今から約420年前までは正しかったのです。

もうすこし傍証を固めておきましょう。

「9月」は、**September** ですが、この **Sept** もなにか、**seven(7)** に近いものを感じます。そのとおりで、**Septem** はラテン語で **seven(7)** を意味します。また、「11月」**November** の **Novem** もラテン語で **nine(9)** の意味です。同じよう、「12月」**December** の **Decem** もラテン語で **ten(10)** を意味しています。（今でも、10進数を **Decimal** といいます。）

以上で十分に推察できるように、年の初めは、今の「3月」、英語では、「March」であるということが分かります。歴史の本をひっくり返してみますと、なるほど、ローマ時代では、年の始まりは「March」（3月）で、このころから天候がよくなり始め、軍事を始めるのに都合が良いということでローマ神話の軍神「Mars」から名前がつけられたとのこと。このローマ時代の暦は、ユリウス暦(Julian Calendar)と呼ばれ、紀元前46年にジュリアス・シーザ(Julius Caesar)によって制定され、その後、1582年に現在の太陽暦(Gregorian Calendar)に置き換えられるまで1500年以上にわたって使われてきました。

なお、参考までに、本来7番目の月を表す、September が2ヶ月ずれて9月となり、8番目の月を表す October が10月とずれ込んだのは、今の7月「July」に、7月生まれの将軍・政治家 Julius Caesar の名前を付した月、8月「August」には、初代のローマ皇帝 Augustus が8月生まれであったことよりこの2ヶ月を挿入したとのこと。

余談ですが、日本が現在の太陽暦を採用したのは、明治5年、1872年に新橋-横浜間に鉄道が開通した年です。

それまで、陰暦では、「睦月」、「如月」、「弥生」、「卯月」、「皐月」、「水無月」、「文月」、「葉月」、「長月」、「神無月」、「霜月」、「師走」という呼び名がありました。わが国の春夏秋冬の豊かな自然の情趣を持つ本当に poetic な呼び名だと思います。当時、暦を変えるのに色々事情があったのでしようが、単純な数字のならびの月名にしてしまったのはいささか趣に欠けるという感じがします。